

たかさう 連携だより

2024年発行
第204号
1月号

年頭のご挨拶 2~6

院長	小川 哲史	副院長	広井 知歳
副院長	鯉淵 幸生	臨床研究部長	柿崎 暁
統括診療部長	伊藤 郁朗	事務部長	石橋 文和
看護部長	今泉 篤子		佐藤 正通
地域医療支援・連携センター長			

地域連携症例検討会

産婦人科 7
産婦人科部長 青木 宏

診療科紹介

形成外科 8
形成外科医長 中村 英玄

病棟紹介

西5階病棟 9
西5階病棟看護師長 一場 恵

感染管理看護師の活動 10
感染管理専従看護師 笹澤 優花

診療放射線科だより 11
栄養だより 12
ほっとさろん・たかさき 13
医師紹介コーナー 14
地域医療連携登録医のご紹介 15
セカンドオピニオンのご案内 16~17
外来診療担当表 18~19
院長閑話 20



高崎市の
風景

撮影：患者サポートセンター 須賀 麻子・下道 弥生

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のかもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

令和6年 年頭のご挨拶



独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター

院長 小川 哲史

明けましておめでとうございます。

昨年、数年に及んだCOVID-19によるパンデミックはなんとか落ち着きましたが、ロシアのウクライナ侵攻に加え、ハマスとイスラエルの戦闘も起こるなど戦火が絶えない一年でした。

さて、当院における昨年の臨床実績ですが、4月から11月の8か月間における新入院患者数は9,722例、手術件数は3,447件、救急車搬送件数は4,624例と、いずれも過去最高の件数でした。当院を信頼しご紹介いただきました先生方に感謝を申し上げるとともに、地域における急性期中核病院としての当院の役割、地域からの大きなニーズを再認識し、身が引き締まる思いです。

当院の昨年の最も大きな出来事は、念願のロボット手術を開始したことです。11月に泌尿器科で前立腺がんの手術に導入し、その後、大腸がんや肺がんなど消化器外科や呼吸器外科でも開始しました。今年はさらに産婦人科でも行う予定で、より侵襲の少ない手術、患者さんの負担の少ない手術・手技を拡げていく予定です。

その他、今年は新たな診療体制の整備として、4月から腎臓内科に2名の専門医師が常勤として赴任される予定です。他にもいくつかの診療科で医師を増員するなど、4月から始まる医師の働き方改革に対応して、医師の確保と診療体制の整備に努めていきます。

地域連携では、昨年は4年ぶりに登録医の先生方との懇親の機会を持つことができました。今年も高崎市・安中市などの行政や医師会等の地域医療機関と連携・協力しながら、市民の方々の命と健康を守るため職員一同、努力いたします。

今年も、ご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



副院長
鯉淵 幸生

皆様 あけましておめでとうございます。

当院には色々な使命が課せられていますが、その中の一つに地域災害拠点病院というものがあります。コロナ禍では机上訓練しかできませんでしたが、久しぶりに大人数での「エマルゴ」を用いた訓練と、模擬患者を導入しての大規模実働訓練を行う事ができました。

エマルゴは113名が参加して9月に行われました。高崎市等広域消防局からもご参加いただき、訓練の最後には仮想記者会見も行いました。

実働訓練は、附属看護学校の学生に模擬患者になってもらい、災害発生後に運び込まれるところから実際に診療にいたる場面までをシミュレーションして11月に行いました。院内のすべての職種105名、看護学生37名の他、院外参加及び見学12名で行いました。

今後も訓練を積み重ね、災害が起こった際にも慌てることなく患者を受け入れ、地域災害拠点病院の責務を果たせるよう努力してまいります。本年もどうぞよろしくお願い致します。



副院長
広井 知歳

新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるにあたって一言ご挨拶申し上げます。

コロナ禍からの回復が急がれる中、当院の2023年は比較的円滑な1年間でありました。救急搬送患者数、紹介患者数ともに前年度を超える勢いで推移しており、これもひとえに地域の先生方のご支援によるものと、あらためて御礼申し上げます。

さて、2024年は医療、介護、障害福祉サービス等を含めた、いわゆるトリプル改訂を控えております。“団塊の世代”全てが75歳以上になる2025年、国民の3分の1が65歳以上になる2035年、更には、生産年齢人口の急激な減少を伴う2040年をも見据えた内容が予想されます。これらの変化は、医師の働き方改革元年を伴って、より一層地域医療の確保を困難にすると考えられています。

では、私達にできることは何でしょうか？柱の一つは言うまでもなく、病病連携、病診連携、病消連携等、地域医療に携わる全ての連携のエンハンスメントです。人口構造の変化と言う喫緊の課題に対し、私たちも積極的に変わっていく姿勢、“変化をとりに行く”ことを行わない限り、その流れに受動してしまうのではないかと考えられます。簡単なことではないかもしれませんが、高崎総合医療センターは皆様のご協力のもと奮励していきたいと思っております。本年も、ご支援、ご指導の程宜しくお願いいたします。



統括診療部長
伊藤 郁朗

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

本年の4月からは、医師の働き方改革を医療法などに基づき行うことが求められています。当院は、地域医療における救急医療体制や専門的医療の提供の継続のため、時間外勤務が年1860時間まで認められるB水準で開始し、その後働き方改革の推進で年960時間までのA水準を達成していく予定です。現在は当直体制の見直し、医師事務補助作業員や診療看護師などへのタスクシフト、チーム制の導入などにより、個々の医師の負担の軽減に取り組んでいます。もちろん、救急医療や登録医や地域の先生方からの紹介患者の診療はこれまで通りに行っています。当院で治療を行い、状態の落ち着いた患者さんについては、地域の先生方での治療継続をお願いできればと思います。これにより当院医師たちは救急や初期治療、手術などに力を注ぐことができますので、ご協力お願いできれば幸いです。



臨床研究部長
柿崎 暁

新年明けましておめでとうございます。

昨年の年頭に「コロナ感染が収束・終息し、早く平穏な日常が戻ることを深く願っております。」と書かせていただきましたが、ようやく、新型コロナウイルスの扱いも感染症法上の5類へと移行しました。

感染の収束において、ワクチンの果たした役割が大きかったことは言うまでもありません。緊急導入されたため、当初は日本人における情報は不足していました。当院は先行接種施設として、群馬県内で最初にワクチン接種を行い、全国の国立病院機構で収集されたデータは、厚生労働省の審議会に報告され、ワクチンの運用に役立てることが出来ました。

新しい薬剤を開発するためには、その有効性や副作用（ワクチンでは副反応）を検証する必要があります。当院は、新しい治療の開発のために臨床試験を行っています。現在、非アルコール性脂肪肝炎、肥満症、急性冠症候群（ACS）、心不全、脂質異常症、乳がん、アトピー性皮膚炎、COPD、潰瘍性大腸炎などの治験を行っています。通常の保険診療で治らない方、副作用でお困りの方など新しい治療法をやってみたい方は、是非一度、臨床研究部へご相談ください。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



看護部長

今泉 蔦子

新年明けましておめでとうございます

皆様には健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症に振り回されておりましたが、昨年5月に感染症5類に移行しコロナ禍の影響で大きく変化した生活様式も落ち着いてきました。

今年は辰年。辰年は「創造性と情熱を解き放ち、勇気と自信をもって夢を追い求める年」とも言われています。看護部はここ数年で培った新たな考え方も含め、地域の皆様と職員の健康を守るために感染対策を励行し、医療・看護の提供に努めてまいります。

創造性を豊かにするため、自分たちが果たす役割は何かを看護職員一人一人が考え、看護師がやりがいをもって働き続けることができる職場づくりに努めます。

そして高崎・安中医療圏を中心とした西毛地域の「地域住民の皆様の命と健康を守る」という当院の使命を果たせるよう精進してまいります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



事務部長

石橋 文和

新年明けましておめでとうございます。

旧年中病院運営にご協力頂きました地域医療機関の皆様、行政機関の皆様、当院職員等全ての関係者に感謝申し上げます。当院は建て替えから14年が経過しその当時設置した大型医療機器の更新を本年度行っています。昨年度から準備を進めてきた「ダヴィンチ」も導入し、安全で安心な医療を地域の皆様へ提供出来るように職員一丸となり引き続き努力して参りますので、今後ともよろしく願いいたします。昔ではコロナは少し落ち着いた感じがありますが、代わってインフルエンザが流行していて晴々とおめでとうという感じがしないのは私だけでしょうか？しかし確実に年は明けます。毎年毎年周りの状況などお構いなしに。ふと思うと私の国立病院機構の年季も後数年となりました。限りある時間で何をすべきか今一度考えています。最近機構職員以外の病院関係者の皆様とお話させて頂く機会が多くあり、同じ事務職や多職種の方から刺激を受け、大変勉強させて頂いております。自分はまだまだだと実感しております。先日病院関係の広報誌にお城の石垣の事が書いてありました。巨大な城を支える重要な基礎部分、積み上げる石が均等なもの、そのままの素材を活かし様々な形のもの、その時代毎に違うみたいですが、当然不均等の方が組み上げる際に高い技術が必要です。何か人と組織に似ていると思いました。組織人なのでルールを守る事は必須、その上で様々な個性を持ち続け生き活きと働ける職場環境が理想、その為に職員に何が出来るか、また、地域の皆様から選ばれる「たかそう」であるためにどうすればいいのか日々検討しています。与えられた機会を逃さず、チャレンジ精神も忘れずに、安定した経営基盤を築き、継続的に医療が提供出来るよう微力ながら努力して参りますので、皆様のご指導とご協力をお願い致します。



高崎総合医療センター
地域医療支援・連携センター長

佐藤 正通

令和6年、明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

令和5年はポストコロナ初年であったと思います。コロナ禍により中止されていた行事や人の交流が一気に再開され、また当センターにおきましても、登録医大会において報告させて頂きましたとおり、紹介・逆紹介件数が著しい増加に転じた1年でもありました。また、昨年はコロナ禍前に比べ、高崎総合医療センターが主催致します勉強会、セミナーそして講演会も充実した1年でもあり、有機的な医療連携の実践と考察に基づいた医療連携による診療アプローチがもたらされた1年でもあったと認識しております。これら高崎地域を主体とした群馬県での連携診療が評価され、令和5年10月より高崎総合医療センターは群馬県より紹介受診重点医療機関の指定を受けております。地域の先生方をはじめとして、多くの地域内医療者の方々に御礼申し上げます。今後はさらに地域を担う先生方と、当センターの医師との患者診療における緊密さが新しい時代を切り開いていくことと、期待しております。10月5日にはコロナ禍4年の念願でありました登録医大会を開催するに至りました。群馬県下多くの医師の参画により、かくも盛況に会を開催でき、これもひとえに、ご協力頂きました登録医の先生方をはじめとする地域内医療者のたまものと感じている次第でございます。加えて感謝の意を表させていただきます。令和6年におきましても、皆様方と共に、高崎総合医療センターでは地域医療連携を基調とした診療提供体制のさらなる構築に取り組み、安心して暮らせる安全な地域を、高崎総合医療センター職員一同目指して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



地域連携 症例検討会



産婦人科部長
青木 宏

産婦人科領域疾患の診断と治療の連携

座長 角田 隆 先生
(セントラルレディースクリニック)

第40回症例検討会では「産婦人科領域疾患の診断と治療の連携」をテーマに、今回は紹介いただいた後期分娩後異常出血と進行卵巣癌症例の治療経過を報告させていただきました。セントラルレディースクリニックの角田 隆先生をお招きし、座長の労をお執りいただき、多くの先生に御参加いただきました。誠にありがとうございました。

塚田医師より「当院におけるRPOC症例」と題し、持続的性器出血のため産褥23日目と30日目に紹介いただいた2症例につき報告しました。RPOCはRetained product of conceptionの略で、2020年頃より本邦でも使用されるようになりましたが、その和訳はまだありません。胎盤遺残及び胎盤ポリープの総称で、仮性動脈瘤とは区別されております。2症例とも来院時には子宮内に血流豊富な腫瘍性病変を認め、RPOCと診断し子宮動脈塞栓術後に子宮内容除去術を施行しました。摘出病理検査は胎盤遺残の所見でした。産褥期の出血は緊急性や他科連携の必要性が高いですので、お困りの際にはぜひ連絡をいただければと存じます。



し、再発はしておりません。卵巣癌の領域でも個別化医療の導入が進んでおり、遺伝子異常の有無により、より有効性の高い治療法の選択が可能となっております。

最後に伊藤医師より、遺伝性腫瘍外来が開設されたこと、進行卵巣癌の治療選択や、遺伝性乳癌卵巣癌などに対する遺伝カウンセリングおよびリスク低減卵管卵巣摘出術の体制が整っていることを報告いただきました。



次に、黒住医師より「審査腹腔鏡を経てNAC-IDSを行った卵巣がん治療症例」と題し、腹膜播種を伴う卵巣癌3C期症例の手術や治療経過につき報告をしました。進行卵巣癌では初回手術治療が困難なことが多く、ガイドラインでは診断目的の審査腹腔鏡手術の有効性と、術前化学療法（NAC）を行い、腫瘍縮小後にインターバル腫瘍減量術（IDS）を行うことが推奨されています。コンパニオン診断を施行し、腫瘍の遺伝学的特性を基に術後化学療法を継続



当院にも2023年10月にダヴィンチが導入され、11月より稼働しております。当科でも2024年1月頃には開始できるよう準備しております。今後も皆様のご要望に応えられるよう努力してまいります。よろしくお願いいたします。

診療科紹介

形成外科

形成外科医長 中村 英玄



形成外科は、身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、機能的、形態的により正常に、より美しくすることによって患者さんのQOL向上に貢献する診療科です。

形成外科では、外傷や顔面骨骨折、熱傷、傷跡の治療や、皮膚・皮下腫瘍、褥瘡や糖尿病性潰瘍、虚血性潰瘍などの難治性潰瘍、副耳や臍ヘルニアなどの先天性体表異常の治療を行っています。その他にも陥入爪や腋臭症、リンパ浮腫など様々な疾患に対する治療を行っています。

乳房再建外来では乳腺内分泌外科と連携を図り、乳癌術後の乳房欠損に対しての治療を行っています。また、2021年に多職種からなるフットケアチームを形成し、2022年からは足の疾患外来を設立しています。糖尿病性潰瘍や虚血性潰瘍の治療や、それらの予防や早期発見、再発予防に尽力しています。

当院では乳腺内分泌外科や産婦人科、外科等での手術後、放射線照射後のリンパ浮腫に対して、リンパドレナージや圧迫療法などの複合的理学療法や、リンパ管静脈吻合術等の外科的治療を含めた治療を行っています。今後さらに体制を充実させ、地域のリンパ浮腫で困っている患者様の一助になれるよう活動を進めていきたいと考えています。

2021年4月から常勤医師1人体制で形成外科診療を行ってきましたが、2023年4月から常勤医師が1人増員され、今後は2人体制で診療を行うことができるようになりました。形成外科の診療範囲は広く、今まで介入が難しかった疾患や病態に対してもアプローチが可能になると考えられます。今後さらに診療体制を充実させ、創傷治療や腫瘍切除後再建、リンパ浮腫治療など、地域がん診療連携拠点病院である高崎総合医療センターの形成外科として、専門的な治療を推進していきたいと考えています。



病棟紹介

西5階病棟

西5階病棟看護師長 一場 恵



西5階病棟は乳腺内分泌外科、呼吸器外科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、眼科、眼形成眼窩外科の40床の病棟です。当病棟には主に手術を受ける患者さん（年間1,100件以上）のほかにも化学療法や放射線療法などの治療を受ける患者さんが入院されています。

手術や治療を受ける患者さんの中には、強い不安を持ったまま入院される方も多くいます。入退院支援センターと連携し、入院生活を安心して過ごしていただけるよう、患者さんの声に耳を傾け少しでも不安の軽減に繋がるように、一つ一つ丁寧な説明と看護を心がけています。

手術後は合併症予防と退院後の生活指導に力を入れています。平均在院日数は7.9日と短い期間の中で、退院後セルフケアにおける合併症予防や継続的な自己処置が必要な患者さんもあります。入院早期から退院後の生活を見



気持ちいい
ですか？

下肢のリンパマッサージの風景

据え、退院後患者さんや家族が困らないようにするにはどのような方法が適しているのかを多職種で考え、必要な知識や技術を習得してもらえるよう関わっています。少しでも患者さんの力になれるようスタッフ自身も学会に参加し最新情報を習得したり、勉強会を行い知識・技術の共有に励んでいます。また病棟にはリンパ浮腫療法士、リンパセラピスト、フットケア指導士の資格を持つ看護師がいます。浮腫を伴う疾患の方にも安心して入院していただけます。定期的にリンパ浮腫外来、フットケア外来において退院後も継続した看護を行っています。

これからも患者さんや家族が安心して手術、治療を受けられるよう専門的知識や技術を養い、早期に退院後の生活に戻れるよう地域の皆様と連携を図っていきたいと思います。

この計画で進めていくのは
どうですか？



カンファレンス風景

感染管理看護師

の活動

感染管理専従看護師 笹澤 優花



高崎総合医療センターでは、患者さんや職員などをはじめとして、病院に関わる全ての人を感染から守るために、感染管理専従看護師が2名体制で活動しています。

今冬はコロナ以外にも、例年より早いインフルエンザの流行や、さまざまな感染症関連のニュースが耳に入る機会も増えました。病院は、免疫力の弱い患者さんが多く集まるため、感染するリスクが高い場所です。当院には、私たち専従看護師と、医師や薬剤師、臨床検査技師などさまざまな職種で構成された感染対策チーム（ICT）と抗菌薬適正使用支援チーム（AST）があり、それぞれの専門分野の知識を集結して感染対策に取り組んでいます。



ICTとは、感染対策を現場が確実に実践できるように支援するチームです。当院では、手指衛生の徹底、手袋やエプロンなどの防護具の着用、環境整備、医療器具の適切な洗浄と消毒、感染症発生状況の確認、職員への感染対策行動の支援をしています。また、院内ラウンドや、各部署のスタッフと密に連絡を取り合い、

感染対策の実施状況を確認、改善箇所について当該部署と検討しています。



ASTとは、その名前の通り抗菌薬を適正に使用できるよう支援するチームで、当院では2018年より活動をしています。病院は病気を治療する施設ですが、その反面で、使用する抗菌薬の種類も多く、抗菌薬の効かない耐性菌が発生しやすい環境でもあります。その要因のひとつに、抗菌薬の不適切使用や長期間投与があるため、耐性菌の発生を抑制する目的で、抗菌薬治療の症例についてチームで評価し、主治医や病棟薬剤師と情報共有を行うなどの支援をしています。

例に挙げたのは感染管理活動のうちのほんの一部ですが、これ以外にもさまざまな対策をチームで模索しながら取り組んでいます。当院に関わる全ての皆様へ、適切な抗菌薬治療、感染対策の実践ができるよう、ICT、ASTメンバーと一丸となり今後も努力してまいります。

医療機器共同利用 のご案内

当センターで保有しています医療機器を、地域の医療機関の先生方にもご利用いただけます。患者さんの診療および治療にお役立てください。

その症状、「骨粗しょう症」かも… 骨密度測定のすすめ

骨粗しょう症って？

骨粗しょう症というのは、骨が弱くなり、骨折の危険が高まる骨格の病気です。また、骨密度が減っていても、ほとんど自覚症状はありません。ただ骨粗しょう症がもとで骨折して初めて、痛みを感じたり、背中が曲がったり、寝たきりになったり、日常生活に支障を来し易くなります。また、女性は男性と比較して骨量が少なく、閉経後にはホルモンバランスが崩れて骨密度が低下し、骨粗しょう症のリスクが高くなる傾向があります。

予防・治療は出来るの？

- 現在、予防・診断や治療のための技術や治療薬が進歩しています。
- 早い段階で骨密度の状態を把握することで、運動療法や食事療法なども取り入れ、良い効果が上げられてきた実績があります。

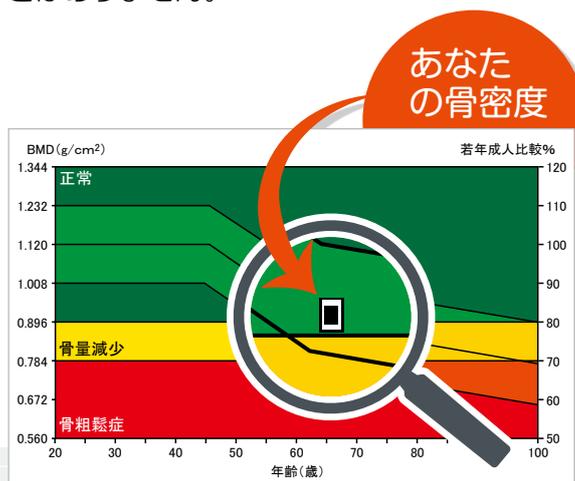


どうすればいいの？

- 問診や骨密度測定を行い、骨密度を把握しましょう。
- 骨折すると日常生活に影響を与える腰椎や大腿骨の骨密度を測定します。
- 当センターで行う骨密度測定には微量のX線を用います。骨密度検査で受ける被ばくは胸部X線検査より少ない量です。
- 測定は、ベッドに仰向けに寝ていただき約10分ほどです。検査に伴う痛みなどはありません。

検査結果について

結果の評価は、日本骨粗鬆症学会等で決められており、若年成人平均値（成人男女の骨が丈夫な人たちの平均値）からどれくらい下がっているかで、評価されます。



栄養だより



正月っていつまで？

皆さんは正月がいつまでなのかご存知ですか？「三が日」と呼ばれる1月3日まででしょうか。それとも「鏡開き」の1月11日まででしょうか。

実は、明確に「〇日まで」という決まりはなく、地域によって異なります。

東京周辺では門松を飾る1月7日まで、関西では小正月の1月15日までとするところが多いようです。

正月と小正月の違い

正月は年神様をお迎えする行事のことです。別名「大正月」とも言います。年神様は農耕の神様であり、五穀豊穡や家内安全をもたらしてくれると信じられていました。そのため、正月は「めでたい」とされています。

一方、小正月は旧暦の1月15日でその年の最初の満月の日です。満月はめでたいものとしてお祝いをしていました。この小正月には煮た小豆を混ぜて炊いたお粥、「小豆粥」を食べる風習があります。

大正月、小正月に食べる行事食

三が日：おせち

平安時代から続いている朝廷行事の一つで、新年に神様に供えたご馳走のこと。それぞれの料理ごとに新年の豊作や長寿などの願いが込められている。

人日の節句：七草粥

七草（せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ）は早春にいち早く芽吹くことから邪気を祓うといわれており、これを食べることで1年の無病息災を祈っている。

鏡開き：餅

年神様の依代として飾っておいた鏡餅を下げていただく儀式。年神様の宿る鏡に見立てた餅を開くことで年神様をお見送りし、さらにお餅を食べることで年神様の恩恵を体内に取り込み、無病息災を祈っている。

小正月：小豆粥

「小豆のように赤い色の食べ物は邪気を祓う」と考えられていた中国の古い風習に由来しているそう。また、「枕草子」や「土佐日記」にも小豆粥についての記述があるほど伝統的な食べ物となっている。



何気なく食べている行事食にも色々な意味、願いが込められています。古くから伝わる行事食を美味しく食べて、次世代にも繋いでいきましょう。

がん患者さんやそのご家族の集いです

ほっとサロン・たかさき



病気のことや
日々の生活のことなど
お話しませんか？

当センターでは、毎月1回がんサロンを開催しております
がん患者さんやそのご家族に、ご自由に参加して頂いております
事前の申し込みは必要ありません。皆様のご参加をお待ちしております

当日は、がんピアサポーター、高崎総合医療センターがん相談支援センターの看護師や
ソーシャルワーカーも参加いたします。

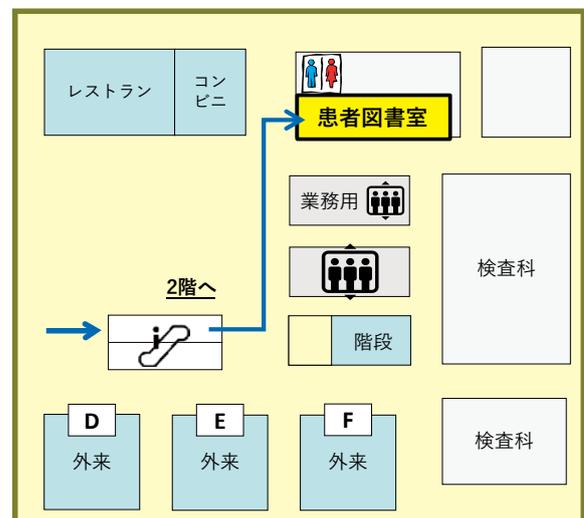
日程：2024年 1月26日（金） 2月16日（金） 3月22日（金）

時間：13時30分～15時30分

場所：高崎総合医療センター2階 ほっとサロン（患者図書室）

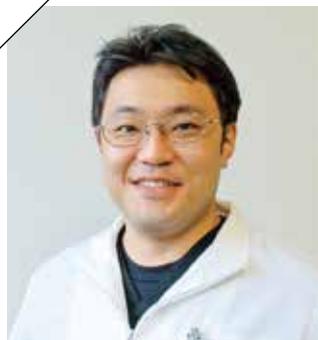
- 当日は、各自水分補給のご準備をお願い致します。
- 当院の駐車場をご利用の場合は、無料になります。駐車券をご持参ください。
- ほっとサロン・たかさきについてのお問い合わせは、高崎総合医療センターがん相談支援センターまでお願い致します。
- 電話：027-322-5901 (病院代表)

ほっとサロン・たかさき
案内図



医師紹介

当センターの医師を紹介します。



総合診療科・内科

うえはら だいすけ

植原 大介

私は初期研修後、群馬大学旧第一内科へ入局し、消化器・肝臓内科医師として、各関連病院、大学院で臨床、研究をしてきました。当センターには、7年前に消化器内科には常勤として1年、その後は非常勤でお世話になっていました。令和4年4月より、総合診療科医として勤務しております。昨今、生活の多様化、高齢化社会の進行に伴い、様々な併存疾患や複雑な社会的背景を持ち、様々なニーズを持った患者さんが増えており、各人に合わせたオーダーメイドな医療が求められています。当科では、地域の医療最前線の開業医の先生方や当院各専門診療科から包括的な対応を要する患者さんをご紹介いただいております。各先生方と情報共有を図り、円滑に連携し、最適な治療ができるよう努力していく所存です。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



呼吸器内科

たけむら まさお

竹村 仁男

令和5年4月より呼吸器内科で勤務させていただいております竹村仁男と申します。群馬大学医学部を卒業後県内の病院等で診療をさせていただきながら研鑽を積んでまいりました。呼吸器内科で診療をする疾患としては気管支喘息やCOPD、間質性肺炎、肺癌など多岐にわたります。特に近年では気管支喘息の治療や肺癌の治療などでは次々と新しい薬剤も開発されより治療に貢献できるようになってきております。そのような中で最新の知見に基づいた治療を日々提供できるよう心掛けてまいりたいと思います。私は藤岡市出身であり、私にとって高崎市は子供の頃からなじみのある地域になります。そのような地域の医療に貢献できることを喜ばしく思い、また患者さんやそのご家族と寄り添いながら診療をしていけるよう精一杯努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携登録医のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

あかりデンタルクリニック

院長あいさつ

お子様からご年配の方々、また歯科治療に対して不安をお持ちの皆様に、安心して通っていただける歯科医院を目指しております。「あたたかな医療サービスの提供」を実現し、皆さまの健康のお役に立てますよう、スタッフ一同努めております。



あかりデンタルクリニック
院長
大島 志世加



診療科・病院案内

歯科・小児歯科・歯科口腔外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~13:00)	●	●	●	△	●	●	△
午後(14:00~18:00)	●	●	●	△	●	◆	△

◆土曜日の午後診療は 17:00 まで
※祝日がある場合は木曜も診療

群馬県高崎市中尾町698-111 TEL:027-388-9682

歯科医師歴20年以上の女性院長が治療を行っております。患者さんへの説明と同意を大切にします。歯科治療が苦手な方もぜひご相談ください。

また、歯科麻酔学の知識を活かし、全身疾患をお持ちの方へ細心の注意を払った治療を行います。

わたなべ小児科

院長あいさつ

長年父親が守ってきた「渡辺小児科医院」の志を受け継ぎ、2023年9月に「わたなべ小児科」として改めて開業させていただきました。

主にお子様の心身の健康に関わることなどを通じて、皆様のいろいろな心配事に真摯に向き合っていければと考えております。

わたなべ小児科
院長

渡邊 健一



診療科・病院案内

小児科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:50~13:30)	●	●	●	△	●	●	△
午後(15:50~18:30)	●	●	●	△	●	●	△

※予防接種、乳児健診については予約サイトで詳細確認をしてください。

群馬県高崎市昭和町182-3
TEL:027-386-3878

地域のかかりつけ医として、お子様の病気はもちろん、保護者の不安や心配事、予防接種、乳児健診、育児相談などに幅広く対応できるよう努めて参ります。

まずは何でもお気軽にご相談ください。

セカンドオピニオンのご案内

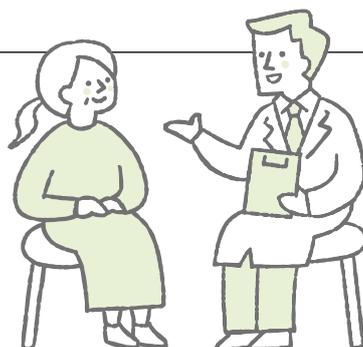
当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

01 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

02 実施診療科 【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、
小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、
脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、
眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円（消費税込み）

30分以上 11,000円（消費税込み）

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。

医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的に勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精神科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼吸器内科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消化器内科	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田 智之	食道、胃、大腸	
心臓血管内科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
	福田 延昭	心不全、弁膜症	木
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	坂元 一郎	消化器外科全般	水
	家田 敬輔	上部消化管	水
	平井 圭太郎	肝臓、胆のう、膵臓	水
	宮前 洋平	下部消化管	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳がん全般・甲状腺外科	随時
	高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心臓血管外科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部 崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳神経外科	田中 志岳	脳腫瘍	月
	笹口 修男	水頭症、脳外科一般	木
	佐藤 晃之	血管障害	金
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放射線治療科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	柴野 正康	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	佐藤 正通 植原 大介	(田村 耕成) 予約のみ	佐藤 正通 飯塚 堯 (合田 史) 午後：予約専門外来	佐藤 正通 植原 大介 予約のみ
栄養食事指導外来		佐藤 正通 午後			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	倉林 理紗 (植原 正也)	植原 良太 倉林 理紗	渋沢 信行 午後	渋沢 信行 植原 良太
神経内科	椎名 葵 (池田 雅美) 午前	平柳 公利	平柳 公利 初診のみ 唐澤 将紀	柴田 真	清水 一輝
呼吸器内科	中川 純一 (星野 裕紀) 午前	細野 達也 内田 恵	田口 浩平 小林 頂	中川 純一 竹村 仁男	細野 達也 内田 恵
消化器内科	長沼 篤 午前	星野 崇 午前	柿崎 暁 午前	長沼 篤 午前	星野 崇 午前
	安岡 秀敏 午前	鈴木 悠平 午前	安岡 秀敏 午前	増田 智之 午前	佐野 希望 午前
	上原 早苗 午前	佐野 希望 午前	増田 智之 午前	鈴木 悠平 午前	田村 優樹 午前
	相原 幸祐 午前	相原 幸祐 午前	鍋木 琢也 午前	古市 望 午前	(小林 倫太郎) 午前
	(石原 弘) 午後		(石原 弘) 午後		(廣田 堇) 午前
(廣田 堇) 午後		(小林 倫太郎) 午後			
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 田村	安岡 / 増田 / 古市	上原 / 佐野 / 相原	上原 / 佐野 / 相原	長沼 / 鈴木 / 鍋木
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌樹 午前：通常 / 午後：不整脈外来 村田 智行 午前	石橋 洋平 高橋 伸弥 午前	広井 知歳 太田 昌樹 午後：不整脈外来 羽鳥 直樹 午前	福田 延昭 午前 高橋 洋右 第1, 3週午前 千吉良 彩花 第2, 4週午前	太田 昌樹 第2, 4週午後：ペーシング外来 小林 紘生 午前：通常 / 午後：不整脈外来 柴田 悟 午前
新患外来(午前)	高橋 伸弥	柴田 悟	村田 智行	羽鳥 直樹	石橋 洋平
心不全予防外来		第2, 4週午後			
精神科	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前
小児科	五十嵐 恒雄 午前	五十嵐 恒雄 午後	五十嵐 恒雄 午前	倉田 加奈子 午前	五十嵐 恒雄 午後
	内田 亨 午後	倉田 加奈子 午前	倉田 加奈子 午後	植原 実紅 午後	佐藤 幸一郎 午前
	田口 未奈 午後	斎藤 淑人 午後第1, 2, 3, 5週のみ (神尾 綾乃) 第4週午後	佐藤 幸一郎 午後 (滝沢 琢己) 第2, 4週午後	東野 允奎 午後 (西澤 拓哉) 午後	小笠原 聡 午後第1, 2, 4, 5週のみ (浅見 雄司) 第3週午後のみ
	前原 孝 午後 (荒川 篤康) 午前		<乳児健診> 午前	(岩脇 史郎) 午前	
小児外科		(西明・高澤慎也) 第4週午後	(西明・高澤慎也) 第1, 3週午後		
外科 (消化器)	坂元 一郎 午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来 齊藤 秀幸 午前：通常 / 午後：食道専門外来	小川 哲史 午前 星野 万里江 午前 小川 哲史 午前	家田 敬輔 午前：通常 / 午後：上部消化器専門外来 生方 泰成	平井 圭太郎 午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来 井田 晃頌 午前	宮前 洋平 午前：通常 / 午後：下部消化器専門外来 齊藤 裕紀乃 午前
栄養サポート外来		小川 哲史 午後			
禁煙外来					
ストーマ外来			第2, 4週午後・予約	予約	
泌尿器科	井上 雅晴 栗原 聡太 午前	栗原 聡太 柴田 康博 午前	交代制	柴田 康博 午前：通常 / 午後：不妊外来 井上 雅晴 午前	交代制

01 外来診療受付時間

8:30~11:00迄

(予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

02 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。

地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

令和6年1月1日現在

	月	火	水	木	金
疼痛緩和内科 看護相談外来	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 午前	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 午前	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 徳田尚子 午前	(荻野美里) 第2,4週午後 (田邊恵子) 第1,3,5週午後 交代制 午前・予約	高他大輔 午前 徳田尚子 第1,3,5週午前 成澤瑛理子 第2,4週午前
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	小谷野哲也 午前 羽鳥恭平 午後	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>
整形外科	荒毅 信太晃祐 遠藤史隆	大澤敏久 大島淳文 都築俊平	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 都築俊平	新井厚 午後 遠藤史隆 <手術日>	大澤敏久 一ノ瀬剛 大島淳文
形成外科	交代制 <手術日>	中村英玄 都丸奈々 午後	中村英玄 午前 都丸奈々 午後	<手術日> 都丸奈々 午前	中村英玄 午前 <手術日> 午後
脳神経外科	田中志岳 上原顕仁 午前 (井上千鶴) 午前	齋藤貴寛 岡田悦子 午前 (石川真衣) 第1,3,5週午前	<手術日> 岡田悦子 午前 上原顕仁 午前	笹口修男 岡田悦子 午前 上原顕仁 午前	佐藤晃之 岡田悦子 午前 上原顕仁 午前
産婦人科 遺伝性腫瘍外来	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 周藤周	<産後健診>	(金井眞理) 午前 塚田蓉子 午前 伊藤郁朗	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
眼科	土屋明 紹介・予約	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史 午前
放射線治療科	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (大高建) 午前	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (富澤建斗) 午前
歯科口腔外科 新患外来	柴野正康 紹介・予約 田中斉 紹介・予約	<手術日>	田中斉 紹介・予約 柴野正康 紹介・予約	柴野正康 紹介・予約 田中斉 紹介・予約 交代制	<手術日>
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1,3,5週のみ、紹介・予約 渡邊眞央 紹介・予約 倉持眞理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持眞理子 紹介・予約 (荒井亮・辻野啓一郎) 第2,4週のみ、紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持眞理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 渡邊眞央 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持眞理子 紹介・予約

()の医師は非常勤です。

03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長閑話

vol.31

清く正しく美しく

院長 小川 哲史



米大リーグのエンゼルスからFAとなった大谷選手がドジャースと契約しました。その額、なんとスポーツ界で史上最高額の10年総額で7億ドル(約1,015億円)です! さらにその他にも3,500万ドル以上のスポンサー契約や広告収入が見込まれ、これまでの6年間の収入等も合わせると、プロ入り以降の総収入は11億5,000万ドル(約1,668億円)になるそうです。まさに資本主義の究極、アメリカンドリームです! あまりに異次元な金額で、われわれ一般人からすると実感がないどころか、はるかに想像を超えた天文学的な金額です。日本人労働者の平均年収は約450万円なので、夫婦共働きなら単純に年収900万円で一般的な家庭なら家族4人で十分に暮らせます。そこから計算すると大谷選手の生涯年収があれば、一家4人が17,000年間以上も暮らせることになります。歴史的に考えると、三内丸山遺跡が栄えた縄文時代の前中期が今から4,000~7,000年前なので、それからさらに一万年前の旧石器時代から現在まで一家4人が生活できることになります。(例えが悪いのか、何だか余計に分からなくなりました…)

日本では昔から「清貧」という概念が貴ばれました。現世での生活は可能な限り簡素にして、心は気高く風雅の世界などに生きることを理想とした考え方です。物質的な豊さを捨て去り自らが積極的に貧しさを受け入れ、お金やモノを貪らない生き方こそが美しい。そのような生き方をした歴史上の人物には、鴨長明、吉田兼好、西行、芭蕉、良寛、蕪村など枚挙にいとまがありません。清く正しく生きていけば必然的に貧しくなる。さらに考え方が飛躍して、お金持ちは何か悪いことをしてお金持ちになったに違いない、悪いことをしなければお金持ちになれない、お金持ちはみな悪人だ、というような誤った解釈にも繋がりがちです。日本人には、昔話の定番である「欲張り爺さんと正直爺さん」の話や「悪代官と悪徳商人」の時代劇などで、物心ついた頃から「金=欲=悪」を教え込まれ、その図式が心の根底にあるような気がします。

今話題の「裏金」で私腹を肥やす政治家は論外ですが、世の中には当然ですが清く正しい方法で成功し、経済的に余裕がある人達がたくさんいます。「衣食足りて礼節を知る」ということわざもあるように貧しいことは決して美德ではなく、むしろ社会的に貢献をするためには豊かなほうがいいわけです。一番の理想は清く正しく豊かなことで、大谷選手は彼のこれまでの言動から察するに、まさに世俗の欲望とはかけ離れた本来の意味での「清貧の思想」を持っていながら、しかもスポーツ界最高の「アメリカンドリーム」をも実現した不世出の天才だとつくづく思います。

ところで、正岡子規は生前に自分自身の生い立ち等を記した墓碑銘を書き、その最後に「月給四十円」と記しました。自分の墓碑銘に月給額を記すことにはかなり違和感がありますが、若くして脊椎カリエスで寝たきりの子規とすれば、東京の一軒家で妹とともにきちんとした生活をおくれる収入があったことを後世の人々に伝えたかったのでしょうか。生涯、写実主義を唱えた文学者の面目躍如で、何だか微笑ましくもあります。

私事ですが、大正生まれの私の父は山間の小学校のしがない田舎教師でした。物質的な欲の少ない人で、趣味は溪流釣りや時代物の小説を読むことくらいで、毎日の晩酌を楽しみにしていました。父はよく「雨露しのげて酒が飲めれば十分だ。欲を張らずに分相応の生活がいいんだ」と言っていました。もちろん清貧などと言う高尚な考え方ではなく、かといってやせ我慢でもなく、日々の変わらぬ生活に満足していたように思います。そんな父を多少誇らしく思い出しますが、その不肖の息子は還暦を過ぎて「あれが欲しい、これも欲しい」と、悲しくも煩惱を捨てられない生活を送っています…

(12月18日)

Information

行事などのお知らせ

第42回地域連携症例検討会

小児科領域疾患の診断と治療の連携

日時：2024年1月22日(月)
18:45~20:00

演者：高崎総合医療センター
小児科医長 倉田加奈子
小児科医長 小笠原 聡

対象：医療従事者
高崎総合医療センターよりWEB配信
※申し込み必要

第136回キャンサーボード

日時：2024年1月25日(木)
18:00~

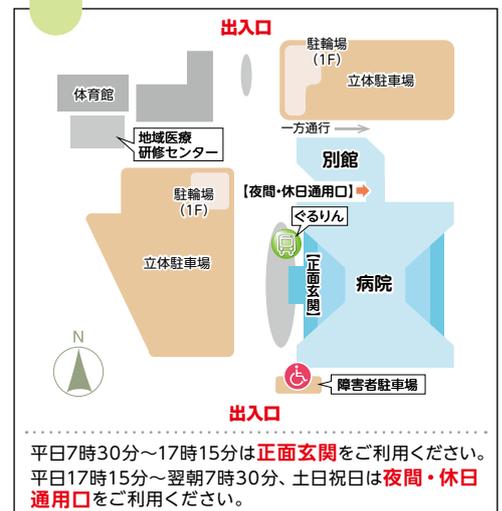
診療科：泌尿器科

会場：高崎総合医療センター 講堂

対象：医療従事者

※申し込み不要

高崎総合医療センター案内図



登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索



Facebook



Instagram



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター